

成田市教育委員会会議事録

令和6年2月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和6年2月16日 開会：午後3時30分 閉会：午後5時23分

会 場 成田市役所2階202会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	三 村 洋 一
教育指導課指導主事	成 毛 典 子
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
学校給食センター係長	郡 司 芳 己
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐 (書記)	神 崎 裕 一

傍聴人：1人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤委員、岡本委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○1月25日 令和5年度第2回成田市学校給食センター運営委員会について

美郷台小学校の学校給食共同調理場で開催されました。この日の議題は教育委員の皆さんにはすでにお知らせしてございますが、給食費の改定に関連する成田市学校給食センター運営規則の一部改正(案)について、と、学校給食用物資規格仕様書(案)について協議していただき、学校給食施設整備事業、これは玉造の学校給食センター本所の再整備のことですが、この整備事業のスケジュールについて報告させていただきました。委員の皆様からは特段質問はなかったのですが、資材や物資が不足していると伝えられている現在、整備スケジュール通りに工事が進んでいくのか、との心配の声がありましたが、このことについては十分余裕があるとの答弁をさせていただいたところです。

○1月27日 成田市書き初め大会2024について

市内の小中学生を対象にした書き初め大会が、重兵衛スポーツフィールド中台の体育館で開催されました。今回は、対象を市内の小中学生のみに限定したため参加者数は前年度と比較すると若干減少したものの、大勢の子どもたちが真剣に取り組んでいました。日本の伝統的な行事である書き初めがこうして広い会場で一斉に行える機会はなかなかないことで、参加した子どもたちにとっては貴重な体験になったものと思います。

○2月6日 令和5年度第2回成田市立図書館協議会について

今回は、全委員出席のもと、令和5年度事業の進捗状況について、と、令和6年度事業の方向性について報告させていただいた後、協議を行いました。委員の皆様からは、図書館が古文書を所蔵していることが一般に知られていないのではないかと、わかりやすい形で市民に知らせてほ

しいとのご意見や、ようやく開始されたブックスタート事業での絵本の配布だが、赤ちゃん相談に来ない人にこそ絵本を渡してあげたいので、子育てガイドブックにもこのことを載せてほしいとの要望、青少年向けコーナーの設置について、どこに、どのように設置する計画なのか、また今後どのような成果が見られるか、追跡調査をしたらよいのではないかと、などのご意見を頂戴したところです。

このほか、過日実施した青少年向け図書館講座「図書館のこと、どう思う」では、ファシリテーターを務めた図書館司書の方が大変素晴らしく、若い人から様々な意見を引き出してきて、企画は大成功だった、とのお褒めの言葉もいただきました。

○2月8日 「部活動の地域移行」協議会について

本年度第2回目の協議会でした。この日は、本市における部活動の地域移行について、今後のスケジュールの確認を中心に協議しました。出席された方からは、地域指導者の募集範囲をもっと広げてはどうかという意見がありました。さらに平日の指導についても触れ、今は、現役をリタイアした人の中で、指導者として意欲のある方もいるはずであり、そうした方なら休日だけでなく平日の指導も可能ではないか。という意見もありました。確かにそれも一理あると思います、今後、指導者の確保に向けて方策を検討してみたいと思いました。

また、これから児童生徒、保護者等にアンケート調査を実施し、子どもたちが主体的に取り組める活動は、本当は何なのか調査したうえで適切なクラブの設置や指導者の確保、活動場所の選定に入っていきたいと思います。

○2月15日 教育長・校長人事面接（二次）について

昨日、各学校の一般教職員の人事異動について、各学校の校長先生方一人ひとりに説明をいたしました。その内容については、本日の会議の議案として皆様にも既に提案させていただいたとおりであります。管理職並びに行政職人事につきましてはまだ非公表となっておりますので、学校には伝えておりません。

その他

○1月26日 令和5年度千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育長・教育委員研修会について

流山市の「スターツおおたかの森ホール」で開催されました。私その他、佐藤委員、日暮委員の2名の教育委員の皆様が参加されましたので、私からは簡単にご報告させていただきます。

今回は千葉大学名誉教授の天笠茂先生のご講演の後、柏市、鴨川市、睦沢町、長南町の各教育長をパネリストとして「コミュニティースクールについて」のシンポジウムが行われました。天笠先生はご自身のご講演の後、このシンポジウムでもコーディネーターを務められました。本市では本年度当初から全ての学校がコミュニティースクールとして活動を開始しておりますが、コミュニティースクールの先進校の実践結果からどのような成果が見られたかもう少し具体的な内容に踏み込んで協議ができるとよかったかな、と感じた次第です。

○1月28日 アメリカ陸上クリニックについて

コロナ禍以降中断していたこの催しが再開されることになり、私は午前中に開催された小学生向け陸上競技クリニックの指導の様子を参観いたしました。今回来日されたアメリカのコーチ陣は、以前から継続して来日され、指導を続けていらっしゃる2021年東京オリンピック男子短距離・ハードルアシスタントコーチのダリル・ウッドソンさん、2019年ドーハ世界陸上4×400メートルリレー金メダリストのフェリス・フランシスさん、2012年ロンドンオリンピック400メートルハードル銀メダリストのマイケル・ティンズリーさんの3人の方々でした。子どもたちには陸上競技を楽しく学ぶためのメソッドを伝授してくださいました。このクリニックは単に子どもたちに教えるだけでなく、普段から陸上競技の指導をされている指導者の方々にも大変参考になるものだと感じたところです。

○1月29日 まち・ひと・しごと創生本部会議について

令和4年度に改定した、第2期成田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について確認と協議を行いました。教育委員会関係では、総合戦略の「基本目標3 結婚、出産、子育ての希望や理想がかなうまち」の中で、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）として、(3) 地域における居場所づくりと子育て支援の充実という項目で、放課後子ども教室登録者数365人を、さらに(4) 新たな時代に対応した教育の推進という項目の中で、教員のタブレット端末を活用する割合80%以上という数値をKPIの目標値に設定しています。特に数値にこだわるわけではないのですが、各種事業を推進するうえで、目標値を設定してこれにできる限り近づけるよう努め、絶えず評価と改善を行っていくことが大切だと考えています。

○1月31日 令和5年度第7回成田市校長会議について

新年最初の校長会議でした。本市は通常時、各学校の校長先生方の判断や決定を尊重し、特に教育委員会から強い指導を行う場面は極めて少ないのですが、その分、学校現場の即時適切な

判断が重要となります。例えば、大雨や大雪、台風などの自然災害時の休校や登下校時間の変更など、子どもたちの安全を第一としてできる限り授業実践を継続させるという大きな目標に沿って実践されていると考えています。また、学校で起きる様々な課題に対して最高責任者としての判断の善し悪しは、所属職員の信頼を得てより良い学校経営ができるかどうかの重要な問題でもあります。本市では普段からそうした校長判断を尊重することにより校長としての力量アップがなされるものと考えています。

まもなく公立高校の入学試験、そして卒業期を迎え、学校は1年のうちで最も多忙な時期となります。インフルエンザや新型コロナウイルスが流行している時期でもあり、校長先生方も健康に留意してよい年度末を迎えられよう教育委員会が学校の良き相談者となって支援できるよう努めてまいりたいと思っています。

○2月2日 令和5年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労者表彰について

印教連の教育功労者表彰については、その選考会議を経て、33名の教職員が表彰の栄に浴されました。表彰式では印教連会長である本市の佐藤委員から心暖まるお祝いの言葉を頂戴することができました。多くは今年度末で役職定年となる校長先生方でしたが、教頭、教諭、養護教諭、事務長の職にある職員も表彰をお受けになっていました。年度末の辞令伝達はまだ少し先ですが、受賞された方々もご自身の足跡を振り返り、きっと万感の思いであったことと思います。

○2月2日 令和5年度第4回印旛地区教育委員会連絡協議会定例常任委員会について

印教連教育功労者表彰式の後、印教連常任委員会を開催しました。ここでは、印教連指定研究学校として公開授業を行った学校の報告の他、令和6年度、7年度の研究指定学校の確認とその後の研究指定の順序、次年度の印教連行事計画等を確認しました。なお、今回は特に協議事項はなかったのですが、この日の表彰式の反省等について簡単な意見交換を行ったところです。

○2月5日 係長昇任試験（面接）について

4級副主査から5級主査へ昇任し、さらに係長職候補者として適任かどうかを判定する昇任試験の面接を行いました。皆さん大変しっかりとした勤務状況であることは所属長の意見書で理解できておりましたが、私が教育長に就任して以降採用された方々がほとんどで、感慨深いものがありました。

○2月6日及び13日 任期付職員採用試験（面接）について

JAL、ANAグループ企業から本市の任期付職員での勤務を希望してきた3名の方の面接を、実施しました。今回応募された方々は、それぞれの会社で実績を積み重ねてきた方ばかりで、本市においても十分活躍が期待できる方々でした。期間は本年4月からの1年間を予定しているとのこと。市職員としての経験がさらなるキャリアアップにつながるだけでなく、本市と航空関連会社との結びつきをさらに増していくものと期待されます。

○2月8日 令和5年度第7回成田市副校長・教頭研修会について

日頃、学校運営のかなめとして頑張っておられる副校長、教頭先生方の研修会の時間を活用させていただき、教育委員会からの伝達をしてまいりました。伝達内容は校長会でお話ししたものと同様ですが、説明の後、何か質問はあるか伺ったところ、何の反応もなかったため、私から、疑問に思ったことは遠慮せず聞いてほしい旨、少し語気を強めてお話しさせていただきました。それは、例えば、次年度の学校配当予算のうち、学校の独自性が発揮できる「ドリームスクールジャンプ」の予算が基本算定額の50%も減額されるというのに、なぜ減額されるのか、もっと詳しくその理由を説明してほしい、とか思わないのかなあ、と思ったからです。

○2月8日 成田市制施行70周年記念行事「新・BS日本のうた」公開収録について

市制70周年記念行事の一つとして、成田国際文化会館でNHKの番組「新・BS日本のうた」の収録があり、私も招待を受け参観させていただきました。五木 ひろし さん、美川 憲一 さん、などのベテラン歌手のほか、八神 純子 さんもゲスト出演されていて、およそ2時間半、休みなしの収録がありました。4年前にも同様の番組で収録がありましたが、この日も26曲の収録があり、楽しませていただきました。

なお、この番組の放映は来月、BS4KとBSプレミアムそれぞれ日時を変えて放映されるとのことでした。是非ご覧いただきたいと思います。

○2月9日 叙位伝達について

平成7年3月、名木小学校長で定年退職され、昨年、高齢者叙勲をお受けになった、大木 光男先生がお亡くなりになり、叙位の伝達に行ってまいりました。大木先生は、私が6年生の時だったでしょうか、小御門小学校に転任してこられ、私の担任ではなかったものの、体操部の指導をしてくださいました。私も体操部の一員として大木先生の指導の下、夏休みにも登校し、古い木造校舎の長い廊下を利用して跳び箱練習をしたり、大会ではその成果を発揮して、マット運

動で優勝した思い出もあります。

お亡くなりになったということで誠に残念ですが、ご冥福をお祈りしたいと思います。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私からは、1月26日の市町村教育委員会連絡協議会研修会からお話させていただきます。私としては、このような県内全域から参加がある会議は、公共交通機関等も考慮し、特に会場については、千葉市に固定してもよいのではないかと感じております。研修会では、パネルディスカッションがあり、各市町の教育長さんから報告がありましたが、司会の先生からの問いかけに的確に対応している姿に、流石だなと感心したところです。一部、質問と実践が混同する場面がありましたが、関川教育長の発言により会議が正常な流れに戻ることができてよかったなと思いました。

次に、2月2日の印教連の表彰式に参加しました。成田中の濱谷先生をはじめ、印旛地区で頑張ってきた先生方が正面におられましたし、成田小の君塚先生が謝辞ということで、私自身、すごく気持ちの入った式に参加させていただきました。

片岡委員：教育長報告をお聞きし、感じたことをお話いたします。

まず、2月2日の部活動の地域移行協議会に関連して、子どもたちからは、子どもの意見も聞いて欲しいとの声がありましたので、ご報告させていただきます。

次に、1月29日のまち・ひと・しごと創生本部会議について、放課後子ども教室のお話がありましたが、今、私はスタッフとして運営に関わっていて思うことは、保護者の送り迎えがない低学年のお子さんこそが、放課後子ども教室で預かってもらえるようなシステムにして欲しいなと感じています。今のシステムでは、保護者がお迎えに来られないおさんは参加できないことになっているので、一人で留守番をしている子と一緒に遊んで待ってられる場所になることと、他市では迎えがなくても帰宅するということもあるようですのでそうなってくれるといいなと思います。

また、1月31日の校長会では、雪の日の登校の時間についてお話があったのですが、先日の雪の日の時間は中学校区単位でまとめていただけると、働くお母さん達は調整が

しやすくなるとの声を聴いております。

最後に、ドリームスクールジャンプが減額とのことですが、その理由はこういったものなのでしょうか。

三村教育指導課長：部活動のアンケートについては、近日中に児童生徒、保護者に行う予定です。教職員については、人事異動がありますので、年度明けてからを予定しております。

ドリームスクールジャンプ21の減額につきましては、限られた予算配分の中で、人的配置に優先配分したことによるものです。

雪の日の対応につきましては、中学校区で調整をしておりますが、学区の状況によります。今回の例では、西中学区では、起伏のある通学路を自転車で通ってくる生徒がいる一方で、加良部小学校区では、比較的平坦な通学路で安全に登校ができるということで、その学校区特性により多少対応に差が出るということをご理解いただきたいと思います。

片岡委員：本日のことですが、リーディングDXの研究会に参加させていただきました。質疑応答の中で、授業準備の時間は増えたとのことでしたが、他の業務ではDXが進み時間が削減されたため、効率化が図られ、授業準備にかけられる時間が増えたということは良いことであるとのことでした。また、ノートは使っているのか、との質問には、その時々により、紙媒体も併用しているとのことでした。校長先生の示した目標に向かって先生方が取り組んでいることがよく伝わる研究会でした。

野村生涯学習課長：先ほどの、放課後こども教室につきましては、学童保育のような預かりではなく、見守る事業となりますので、よろしく願いいたします。

関川教育長：教頭会議で質問することを投げかけた理由としては、答えていただくと、市の状況を理解するきっかけになるとともに、少ない予算をどう効率的に使うかという意識

が高まるのではないかということで発言させていただきました。

また、雪の日の登校についてであります。できる限り授業を継続するという大きな目標がありますので、それに向かってなお且つ安全に登校させなければならぬという中で校長先生が自主的に判断されておりますので、それを尊重していくべきであると考えています。校長先生のそういう難しい局面での判断が、自分自身を管理職として成長させていくものであると考えております。

日暮委員：先日、公民館の「大人の塗り絵講座」に申し込みましたが、応募多数のため、私は落選という結果となりました。たくさんの応募があったと思います。私たちの年齢層にフィットした内容でありますので、このような講座は再度開催していただけるとありがたいです。

実施後に公民館のホームページに概要を掲載していただけると良いと思います。

大隅公民館長：20名募集のところ51名の応募がありました。

参加者アンケートの感想でも好評でありましたので、来年度以降も検討したいと思っております。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第5号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「成田市立小中義務教育学校県費負担教職員の人事異動について」

《審議結果》 承認

議案第2号「令和5年度3月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」

伊藤教育総務課長：

成田市議会3月定例会に提出いたします、補正予算案がまとまりましたので、教育委員会会議の議決をいただきまして、市長に申し入れるものでございます。

それでは、議案資料の1ページをご覧ください。

歳入予算の補正でございます。

市債では、本城小学校増築事業並びに公民館施設維持管理事業において、決算見込みにより、それぞれ市債を減額補正いたします。

続きまして、2ページをご覧ください。

こちらは、歳出予算の一覧でございます。いずれも減額補正となるものでございます。

本城小学校増築事業並びに公民館施設維持管理事業におきまして、入札による差額等により、また、中学校施設維持整備事業におきましては、整備方針の変更により、不用額が生じることから、それぞれ減額補正いたします。

このほか、文化財等維持管理事業におきまして、補助を予定しておりました工事が延期となりましたことから、修理費補助金の全額を減額補正いたします。

このほか、3ページの上段にあります、小学校長寿命化改良事業におきましては、年度内の事業完了が困難であることから、繰越明許費の設定をいたします。

各事業の詳細につきましては、3ページ以降の資料に記載してございます。

こちらの内容につきましては、誠に恐れ入りますが、委員の皆様のご質問により、各事業担当課長からお答えさせていただきます。

《議案第2号に対する質疑》

片岡委員：成田小学校の前払いした額があるようですが、契約額からこの数字を引いた額を繰り越すということでしょうか。

越川学校施設課長：はい、その通りです。

片岡委員：公民館が老朽化しているようですが、これからも工事が続くのでしょうか。また、Wi-Fiが不可欠になってきていますが、これからの整備はどのようになるのでしょうか。

大隅公民館長：今年度は大栄公民館の受変電設備の工事を行っておりますが、来年度、再来年度と順次、老朽化した公民館の受変電設備の工事を予定しております。なお、中央・公津の公民館は既に工事を終えております。

Wi-Fiの整備につきましては、特に予定はありませんが、各公民館共通でロビーに整備しております。

片岡委員：中央公民館に2階の学習コーナーでは使えないのでしょうか。

大隅公民館長：中央公民館のみとなりますが、2階に学習コーナーがありますことから、Wi-Fi接続は可能となっております。

片岡委員：公民館でも大型のプロジェクターやスクリーンが整備される予定はありますか。

大隅公民館長：現在、公民館では、講座等において必要となる機材については、市役所本庁舎の電算室から借り受けておりますが、他の行事との兼ね合いで借用できない場合もございます。公民館といたしましては、独自に整備できるよう要求をしてまいります。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第2号「令和5年度3月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

す。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第3号「令和6年度教育委員会当初予算案について」

伊藤教育総務課長：

成田市議会3月定例会に提出いたします、教育費に係る令和6年度当初予算案がまとまりましたので、教育委員会会議の議決をいただき、市長に申し入れるものであります。

まず、議案資料の8ページをご覧ください。令和6年度一般会計、教育事務に係る予算につきましては、歳出総額で70億2千58万4千円となり、本市の一般会計予算653億円のうち、約10.8パーセントを占めることとなります。

本予算は、学校教育における学力向上や学習環境の整備、また市民の皆様の生涯にわたる自主的な学習活動の支援等に向けて、所要の予算を計上いたしました。

1ページにお戻りください。歳入予算です。金額については、本年度及び決定額の欄が令和6年度予算額、前年額の欄が令和5年度の予算額となります。

はじめに、歳入のうち、主なものをご説明させていただきます。

14款1項9目、教育使用料148万円は、公民館などの使用料となります。

15款2項6目、教育費国庫補助金は、総額で8千28万9千円、学校施設環境改善交付金、へき地児童援助費等補助金などであります。

2ページをご覧ください。中段になりますが、21款5項2目、学校給食費負担金は、4億9千114万8千円となります。令和4年度に開始した、成田市立小中義務教育学校に通う第3子以降の学校給食費の無料化や、令和5年度から新たに実施した、中学校3年生及び義務教育学校9年生の生徒、並びにひとり親家庭の児童生徒に係る学校給食費の無料化などから、前年度比1千754万2千円の減となります。

また、下段になりますが、22款1項6目、教育債は、総額で7億3千40万円となります。小学校太陽光発電導入事業債、公民館施設改修事業債、学校給食施設整備事業債などを計上しております。

以上、歳入予算の総額は、13億6千317万8千円で、前年額と比較いたしますと、教育費国庫補助金、市債の減額等により、9億7千188万7千円の減額となっております。

続きまして、4ページをご覧ください。歳出予算となります。

10款1項2目、事務局費5億4千341万7千円です。本市の学校教育振興基本計画の計画期間が令和7年度で終了となりますことから、令和6年度から2か年をかけて、新たな計画を策定するための予算などを計上しております。

10款1項3目、教育研究指導費9億3千954万5千円です。教師用教科書・指導書などの購入をはじめ、養護補助員配置事業、学校図書館司書配置事業、日本語教育補助員配置事業、特別支援教育支援員配置事業、また、英語科 研究推進事業における外国人英語講師、個性を生かす教育推進事業における学校サポート教員・健康推進教員、教育支援センター運営事業、教育センター運営事業における指導員など会計年度任用職員の報酬や、特色ある学校づくり事業など、学校支援・学校運営のための各施策を推進します。

5ページの中段をご覧ください。2項、小学校費、2目、教育振興費4億1千945万2千円です。小学校における要保護及び準要保護児童への就学援助、教材備品や学校ICTの整備、スクールバスの運行などを行います。

3目、学校建設費2億4千910万9千円です。小学校における太陽光発電導入事業や、児童の増加による教室不足対策などに係る予算を計上しております。主なものとしまして、成田小学校改築事業では、校舎改築工事に向けた実施設計を行います。また、平成小学校及び本城小学校増築事業では、児童数の増加による教室不足に対応するため、引き続き校舎の増築を進めてまいります。

続きまして、6ページをご覧ください。4目、特別支援学級費827万7千円です。特別支援学級へ就学する児童等への就学援助や、指導用備品等の整備を行うための予算です。

3項、中学校費、2目、教育振興費1億6千842万円です。中学校における要保護及び準要保護生徒への就学援助、教材備品や学校ICTの整備、スクールバスの運行などを行うための予算です。

3目、学校建設費8千590万2千円です。中学校長寿命化改良事業などの 施設整備に係る予算を計上しております。主なものとしまして、成田中学校校舎の長寿命化改修工事実施設計

を行うとともに、玉造中学校体育館の屋根改修工事実施設計を行います。また、中学校の体育館等における熱中症対策として、令和7年度の供用開始に向け、スポット型空調設備の整備を行います。

4目、特別支援学級費520万7千円です。特別支援学級へ就学する生徒等への就学援助や、指導用備品等の整備を進めてまいります。

4項1目、幼稚園費1億5千105万円です。大栄幼稚園の管理運営及び私立幼稚園幼児教育振興事業を実施します。また、大栄幼稚園整備事業では、受変電設備改修工事実施設計を行うとともに、屋根防水工事を行います。

5項1目、社会教育総務費1億7千836万2千円です。家庭教育学級、生涯大学院及び明治大学・成田社会人大学の開催、美郷台地区会館等の維持管理など、社会教育や生涯学習を推進してまいります。

7ページをご覧ください。2目、青少年対策費3千228万円です。青少年問題協議会の運営、青少年劇場の開催、成人式開催事業、青少年育成団体への支援、放課後子ども教室などを実施します。

3目、公民館費5億6千483万3千円です。13館ある公民館の管理運営や各種事業及び施設の維持管理や改修工事を実施します。具体的には、玉造公民館他4館の受変電設備の改修工事や他の公民館5館の受変電設備の改修工事 実施設計などであります。

4目、図書館費5億1千750万2千円です。図書館本館、分館及び公民館図書室等の管理運営や図書資料の整備及び施設の維持管理を行います。具体的には、令和6年度は市制施行70周年、本館開館40周年を迎えることから、記念事業を実施するほか、本館に青少年向けの資料を提供するコーナーを新設することとしております。

5目、文化財保護費4千198万9千円です。市内に所在する文化財の保護・保存、三里塚御料牧場記念館、下総歴史民俗資料館、滑河文化財保存展示施設の管理運営などを行います。

8ページをご覧ください。6項2目、学校保健体育費8千785万9千円です。学校体育における水泳指導のほか、児童生徒が安全に学校生活を送れるよう各種健康診断委託料や学校で起こる災害等に備えた保険負担金などの予算を計上しております。

3目、学校給食費21億9千344万4千円です。給食の材料費、調理等業務委託料、施設の

維持管理費などの予算です。令和6年度は、食材価格が高騰する中、適正な賄い材料費を確保するため、賄い材料費の増額分について公費負担を行い、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、学校給食センター本所の移転・再整備に向けた工事に着手してまいります。

以上、教育事務に係る歳出予算総額は、70億2千58万4千円で、前年額と比較いたしますと、10億5千810万4千円の減額となっております。

教育委員会各課における令和6年度の主要事業の概要につきましては、誠に恐れ入りますが、委員の皆様のご質問により、各事業担当課長からお答えさせていただきます。

《議案第3号に対する質疑》

岡本委員：小学校スクールバス運行事業の予算は、小学校通学支援事業に移動したということ
でよろしいでしょうか。

三村教育指導課長：はい。その通りです。

片岡委員：放課後こども教室ですが、消耗品費などの運営費用は一律なので、参加人数が多い
ところと少ないところもあるので、そのあたりをなんとかしていただくことはできな
いでしょうか。

野村生涯学習課長：まず、事業に係る報償費につきましては、全校分を総額で管理しておりま
すので、運営規模の大小に関わらずお支払いしております。消耗品費で購入
しているハサミなどは、参加人数にあまり左右されません。折り紙など、持
ち帰るものにつきましては、受益者負担とすべきものですので、予算は一律
としております。

日暮委員：学校運営協議会推進事業ですが、次年度からプロジェクトチームが立ち上げるので
しょうか。

野村生涯学習課長：プロジェクトチームは、学校運営協議会設置にかかる支援体制の確保のため、昨年度より立ち上げております。協議会運営上の相談体制の確保のため今年度も存続しており、この制度が軌道に乗るまで次年度以降も引き続き組織するものでございます。

日暮委員：このチームの教職員経験者とはどのような方なのでしょうか。

野村生涯学習課長：教育部に所属する職員のうち、教員から成田市教育委員会に採用された課長職と、社会教育主事、管理主事、指導主事などから兼務職員を配置しております。

岡本委員：歳出合計が約13パーセント減っておりますが、資料を見ますと小学校長寿命化改良事業の部分がなくなったことが大きいということによろしいのでしょうか。

越川学校施設課長：本年度は玉造小と中台小の長寿命化工事が大きなものでした。次年度は、工事自体はなく、成田中学校の長寿命化改修工事の実施設計のみとなりますので、工事の時期により予算の増減が生じているものとなります。

片岡委員：教育費の減った分の予算はどこに使われるのでしょうか。

越川学校施設課長：教育費として使うということではなく、市の予算として全体で使うこととなります。

片岡委員：その予算を教職員の給与に充てることはないのでしょうか。

関川教育長：教職員は、県費負担ですので、それはありません。

教育費だけで使っているわけではなく、市全体の予算の中の教育費ということとなりますので、増えるときもあれば減るときもあるということとなります。

片岡委員：歳入にある預かり保育料とはどのような費用でしょうか。

小川教育部長：教育費にある大栄幼稚園の預かり保育料になります。

関川教育長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第3号「令和6年度教育委員会当初予算案について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第4号「令和6年度使用副読本（市費負担分）の採択について」

《審議結果》 可決

議案第5号「学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について」

三村教育指導課長：

学校医等の委嘱につきましては、学校保健安全法第23条に定められ、これを受けて成田市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則第5条並びに成田市立大栄幼稚園管理規則第3条により、教育長の推薦によって教育委員会が2か年の任期で委嘱することになっています。

この学校医等の委嘱期限が、この3月31日をもって満了となりますので、委嘱を新たにす
るものです。

永年、本件の委嘱につきましては、担当学校の分担や医師会の役員との兼ね合い等もあり、成田市医師団・印旛郡市歯科医師会成田地区・成田市薬剤師会の各会から推薦していただいたものを基に委嘱者の案を作成してまいりました。今回もそのような手順を踏ませていただいて

おります。

内科・歯科の学校医は児童生徒数200人に1人を配置することになっていることから、各校の在籍数により1名から4名を委嘱します。また、耳鼻科、眼科、薬剤師は各校1名ずつの委嘱となります。

委嘱者の一覧はお手元の資料になります。

「令和6・7年度 学校医、学校歯科医、学校薬剤師一覧」の下線太字の部分が配置の変更になります。複数校を担当していただく先生もいますが、今回の委嘱は、学校医として、内科医46名、耳鼻科医4名、眼科医6名、学校歯科医37名、学校薬剤師18名の委嘱を提案させていただきます。

なお、任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までとなります。

《議案第4号に対する質疑》

特になし

関川教育長：特にないようですので、議案第5号「学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

《非公開を解く》

(2) 報告事項

報告第1号「令和5年度成田市学力調査の結果について」

三村教育指導課長：

本年度、令和5年12月6日、7日に実施しました、成田市学力調査の結果の概要について、ご説明いたします。

本資料で示している「全国」とは、委託業者である「東京書籍」の問題で調査を実施した全児童生徒を示します。全国に1,700の自治体がある中、本市のように独自で学力調査を実施している自治体は800程度あり、そのうちの420自治体（53%）が参加している調査となります。

また、目標値とは、「学習指導要領に示された内容で標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合」を東京書籍が判断して設定した値となります。

今年はレイアウトを大きく変え、学年ごとに各教科の状況が詳しく分かるようにいたしました。

まず、資料の見方についてご説明いたします。3ページをお開きください。①の各教科の平均正答率は、青色が成田市、赤色が全国を示しております。②の教科ごとの状況の左側のグラフは青色が全国の正答率、黒色が成田市、白色のダイヤは東京書籍が設定する目標値です。右側は正答率の度数分布です。

なお、別紙にて、市の課題にあたる問題を何問か添付いたしました。説明に併せて御覧ください。ただ、3月上旬までは他自治体でも本調査を実施している都合上、児童生徒への返却は不可となっておりますので、会議終了後、回収させていただきますことをご了承ください。早速、資料に沿ってご説明させていただきます。

全体の概要といたしましては、小学校も中学校もほぼ全国平均と同程度の結果となりました。つづいて、学年別、教科ごとにご説明いたします。3ページをご覧ください。

まず、小学校1年生の結果についてです。算数科はほぼ全国平均と同程度で度数分布を見ても概ね良好であると言えます。国語科は「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国平均より下回っており、添付している出題例にあるように、二つの文から、連想する言葉について解答する問題に課題が見られました。

続いて、4ページをご覧ください。小学校2年生の結果についてです。

国語科・算数科ともに、全国平均と同程度であり、度数分布を見ても概ね定着が図られていると考えます。

5ページをご覧ください。小学校3年生の結果についてです。

算数科は全国平均とほぼ同程度の結果となりました。特に「図形」と「測定」の領域で良好な結果が得られました。

理科は若干下回っており、中でも「生命・地球」の領域で課題が見られました。出題例にあるような、身近な自然や昆虫について、理科の見方・考え方の一つである「共通性や多様性」の視点をはたらかせて観察するような授業改善が必要であると考えます。

国語科については、全国平均・目標値を下回っている領域・観点が多く、課題となっています。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字の書き取りだけでなく、漢字の音読み、訓読みや、正しい言葉の使い方など、「知識・技能」の定着を図るために、丁寧な指導を大切にするとともに、出題例にもあるように、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約できるような力を付けていく必要があります。

6ページをご覧ください。小学校4年生の結果についてです。

3教科とも概ね全国平均を超えており、特に理科は良好な結果が得られました。国語科「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では添付してある問題のように「主語・述語との関係について理解しているか」を見る問題で課題が見られました。

算数科では「変化と関係」の領域で課題が見られました。4年生から学習が始まる「割合」について、2量の関係を表している正しい図を選択したり、基準量を求めるための式を書いたりする問題の正答率が低い結果となりました。問題にあるように、文章題から式を立てるまでに、テープ図や線分図を使って考えたり、友達に説明したりするなどの授業の工夫が必要です。

7、8ページをご覧ください。小学校5年生の結果についてです。

国語科・算数科においては、全国平均を上回っており、良好な結果が得られました。

理科は全国平均を下回る領域が多い結果となりました。実験・観察の中で対話的な学びが浸透してきている一方で、顕微鏡の扱い方やメダカの雌雄の区別など、知識や技能の定着に課題が見られました。目的や視点を明確にした観察・実験を行い、観察してわかったことや実験の結果を言語化するなど、知識や技能との結びつきを意識した授業づくりが重要であると考えます。

社会科は全国平均と同程度ではありますが、「国土の自然などの様子」の領域で課題があり、身に付けた知識を地図上のどの位置になるのか関連付けて確実に定着を図るような工夫が必要で

あると考えます。

9、10ページをご覧ください。小学校6年生の結果についてです。

算数科・理科・社会科において全国平均と同程度の結果でありました。一方で国語科は全体的に全国平均を下回っており、特に「我が国の言語文化に関する事項」の領域で課題が見られました。和語・漢語・外来語などの区別について関心をもって学習に取り組み、短い配当時間でも定着が図れるような授業の工夫が必要であると考えます。

11、12ページをご覧ください。中学校1年生の結果についてです。

国語科・数学科・社会科・英語科は全国平均と同程度でした。一方で理科は全国平均を下回る領域が多く見られました。特に、基礎となる知識の習得に課題があるため、実験・観察と関連付けて、主体的に学習できる学習環境が大切であると考えます。また、授業の中で仮説・考察の時間を確保することが重要です。

13、14ページをご覧ください。中学校2年生の結果についてです。

5教科とも全国平均と同程度の結果でありました。特に英語科のリスニングの力が高く、中でも対話文の応答に関して全国平均、目標値を大きく上回る良好な結果が得られました。

全体的に小学校の国語科の言語事項の領域において課題が見られました。言葉の学習は教科書では短い配当時間での学習となります。授業だけでなく、日常の中で覚えた語彙を正しく使っていけるよう意識していくことが大切だと考えます。

これまで本市の課題となっていました中学校の数学科についてですが、全体的に全国平均とほぼ同程度の結果が得られました。しかし、一問ずつ問題を見ると、課題が見られる領域・単元もあるため、引き続き、優れた実践例を紹介するなど、課題克服のために学力向上推進委員会等においても検討してまいりたいと考えております。

また、本調査では、各教科の「主体的に学習に取り組む態度」に関して、各教科のそれぞれの領域等例えば国語では「書くこと」等で評価しており、本来の授業の中で見取るような「粘り強さ」や「自己調整力」とは違った側面での評価となっているため、この観点が低いからといって、その教科全体として主体的に学習に取り組む態度が育まれていないとは捉えてはおりません。

続いて、15～18ページをご覧ください。同一集団における、経年による変化をまとめた

ものです。グラフは、全国値の正答率を50としたときの換算値であり、黄色の矢印が標準スコアよりも上の値、青色の矢印が下の値を示しています。また、矢印の向きにより、上昇傾向か、下降傾向かわかるようになっております。昨年度と比較すると上昇している教科は増えていますが、小学校低学年と6年生で下降傾向が見られるため、注意が必要です。

教育指導課では、「輝くみらいNARITA教育プラン」を柱とした「教育指導課の学力向上の重点」を19ページの通り計画、実施しております。具体的な取組は、23ページから27ページに掲載しておりますので、ご覧ください。

中でも、24ページの(5)にある「相互実践研修」を実施し、年々増加している若年層教員のために、指導主事が学校を訪問し、授業参観と研究協議を通し、授業の在り方や学級経営等について共に学ぶ機会を設けております。

最後に綴じてございますのは、家庭向けリーフレットで、来週、各学校に送付し、家庭への配布を依頼してまいります。

なお、レーダーチャート内の赤い数値は、全国の正答率と比較して1ポイント以上上回っている領域・観点を示しています。こちらのレーダーチャートはあくまで全国平均を50としたときの相対値であるため、例えば50を下回ったとしても、それは全国平均と比較して低かったということを示しているものであり、調査問題制作側が設定した目標の数値は超えている、ということもあるため、実際に成田市全体として、その観点ができる、できないの判断には直接結びつかない場合もあることをご承知おきください。

この成田市学力調査は、1つ目は、「次年度以降の教育活動全般に学校全体で活用すること」、2つ目は「教師の指導力向上」、3つ目は「児童生徒が自身の学習状況を振り返り、改善・向上を図ること」の3点を目的として取り組んでおります。

各学校でも結果をもとに自校の成果と課題を分析し、次年度からの学校運営に生かしていただきたいと思っております。

《報告事項第1号に対する質疑》

日暮委員：調査時期は12月でありましたが、毎年この時期なのでしょうか。

三村教育指導課長：今年は時期を早めました。来年度も同じ時期を予定しております。

日暮委員：その場合、履修がされていない問題が出題される可能性はありますか。

成毛指導主事：11月末までの範囲としておりますので、基本的には各単元は修了していることとなります。但し、感染症等により授業の進度が遅れる場合には、未学習申請をして受検しないといった対応もできます。

日暮委員：実際にそれをやった学校はありますか。

成毛指導主事：ございます。

日暮委員：なぜ、時期を早めたのでしょうか。

成毛指導主事：これまでの時期ですと、結果が学校に帰ってくるのが2月末となり、実際、分析して子どもたちへフィードバックするのが3月となり、学校全体が忙しい時期となり、十分時間が確保できないということで、校長会や学力向上推進委員会に諮りまして、時期を1か月早めることによって、既に2月5日には学校に結果が届いております。

本日、教務主任研修会がありまして、結果を見てこれから分析する計画がある学校を聞きましたところ、全ての学校で行うとのことでありましたので、十分時間が確保できるのではないかと思います。

日暮委員：以前は、この範囲が出るので冬休み中によく復習をしておくようにといったことがあったと記憶していますが、今回、時期が早まったことを含め、子どもたちや親御さん、そして教職員もそういったことは理解して臨まれたということでしょうか。

成毛指導主事：この調査自体、日ごろの子どもたちの学習がどの程度定着しているかということ
を測るものであって、この調査のために復習を重ねていい点数を取るためのものでは
ありませんので、そういった趣旨を学校には伝えてあります。

報告第2号「学校給食センター本所再整備のスケジュール等について」

福島学校給食センター所長：

学校給食センター本所再整備のスケジュール等についてご説明いたします。

A3の資料をご覧ください。1. 基本方針です。昨年1月の教育委員会会議定例会でお示し
した基本設計から抜粋したのですが、本事業は（1）食物アレルギーへの対応、（2）温か
い給食の提供、（3）食育の推進、（4）センター方式の導入、（5）近隣環境への配慮 の5
つの基本方針に基づき実施いたします。

2. 設計概要についてですが、建設場所は成田市下方1561-1で、愛光園跡地になりま
す。構造は、鉄骨造、地上2階建て、延床面積は約2,295㎡で、最大で2,500食の調
理を可能としております。

配食校は現在と同様の成田中、久住中、西中、中台中、吾妻中、玉造中の6校でございま
す。他共同調理場と同じく、アレルギー除去食に対応するための特別調理室を設置します。

右側のページに敷地全体の配置をお示ししております。以前に建っていた愛光園は、近隣住
宅がある南側が出入口となっておりますが、学校給食センターは、西側の坂道となっている
市道側に出入口を設置することで、食材納品や配送トラックによる騒音等に配慮いたしまし
た。また、施設全体を可能な限り北側に配置することで、騒音やにおいの影響を最小限にする
よう計画いたしました。

裏面をご覧ください。4. 学校給食センター本所再整備のスケジュールでございます。

工事といたしましては、11月の本定例会において説明した12月補正予算要求書のゼロ市
債として計上した、「外構工事その1」を4月から9月にかけて実施いたします。

その下にあります、建築工事、電気設備工事、機械設備工事は、9月に契約を締結し、工事期
間につきましては、令和6年度から7年度の2か年で行い、最後に外構工事を行います。

その他、必要な委託業務や備品及び消耗品を購入して、令和8年度の2学期からの給食開始を予定しております。

《報告事項第2号に対する質疑》

片岡委員：厨房機器や備品は、全て新しいものになるのでしょうか。

福島学校給食センター所長：はい。全て新しいものになります。

6. その他

野村生涯学習課長：

成田市立三里塚小学校赤煉瓦門の千葉県登録有形文化財の登録について、ご報告いたします。

まず、千葉県登録文化財の制度についてですが、これは令和4年に、指定制度だけでは対応しきれない、一定の価値がある文化財について、幅広く文化財の裾野を広げて保存・活用を図り、また、国と一体となった文化財保護行政を推進するために新設されたものです。

今回登録の答申がありました三里塚小学校赤煉瓦門は、明治43年（1910）頃、旧陸軍鉄道大隊駐屯地の門として建設されたもので、そののち、時期は不明ですが、三里塚小学校の校門として移築したものとわれております。

明治40年代に軽便鉄道が三里塚に敷設され、その工事を担った旧陸軍鉄道大隊に深い関わりがあることから、この煉瓦門が歴史的価値を有すること、成田市内において明治期の煉瓦造りの建造物が稀有であること、現在は小学校の門として地域のランドマーク的な存在となっており、地域の景観に欠かすことのできない存在であることから、千葉県が登録有形文化財への登録を申請いたしました。

そして、これらのことが千葉県文化財保護審議会に認められ、登録の答申を得たものです。

《その他に対する質疑》

片岡委員：子どもたちが授業とかで教えていただいたり、伝えていくといった計画はありますか。

野村生涯学習課長：今後、そういった活用を含め、検討してまいりたいと思います。

7. 教育長閉会宣言